

会報 長事研

島原市立第一中学校内
発行責任者 前田 慎吾
2022年11月24日発行

祝 セミナー無事終了!

10月28日は県内から沢山の参加者を迎え、無事に第23回長崎県公立小中学校事務職員研究会セミナーを終了することができました。ありがとうございます。

47名の参加者があり、うち離島部より7名来ていただきました。遠路はるばるありがとうございます。

1月の愛媛大会に向けて、特別委員会は更なる研鑽を積まれるということです。会員一団で応援していきましょう!

第23回 長崎県公立小中学校事務職員研究会セミナー

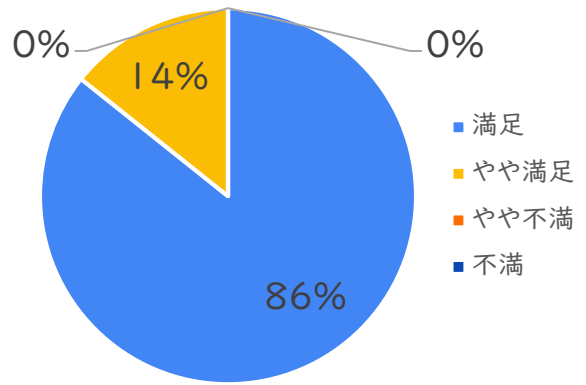


会場の様子
全席埋まっており、急遽会長と特別委員長がもやい席に!

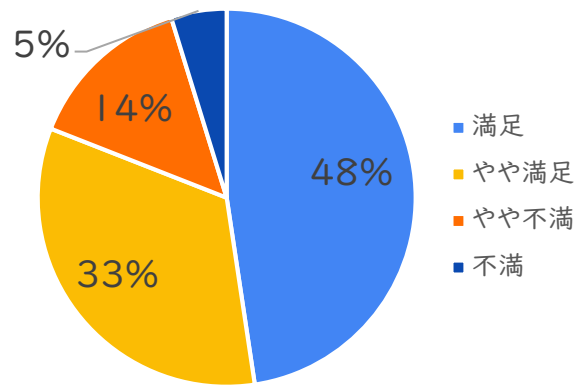


諫早市教育長
石部 邦昭様
元校長先生です

【セミナー全般について】

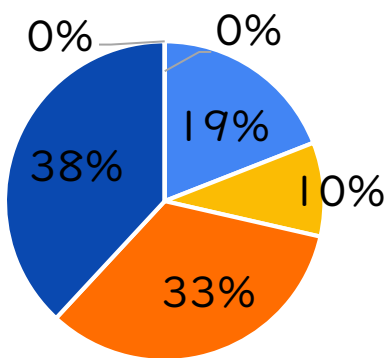


【開催時期について】



・この時期は、年末調整、予算要求、教員統計調査と、非常に業務が多くて厳しい。

アンケート結果



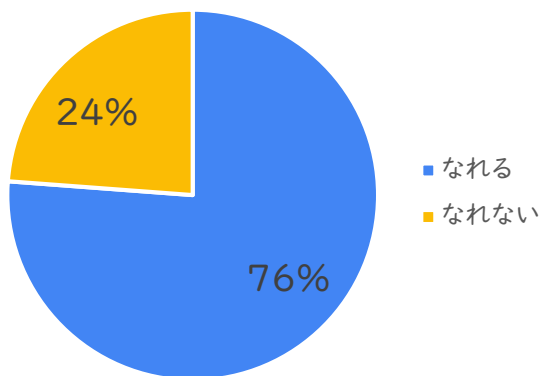
参加者職名

- 事務職員(正規)
- 事務主査(正規)
- 事務主任
- 事務主幹
- 事務職員(臨時)
- 事務主査(再任用)

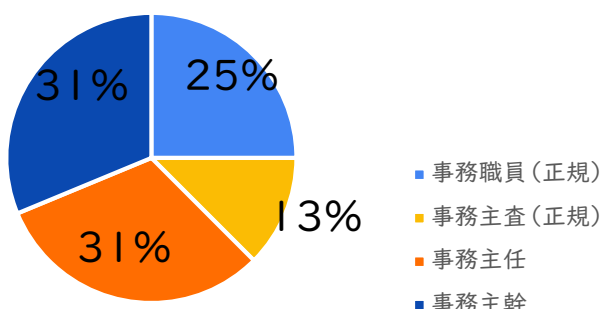
ドキドキ★
水田特別委員長



【長事研は『Hub』となり得るか?】



職名別長事研はHubになり得ると思う方の割合

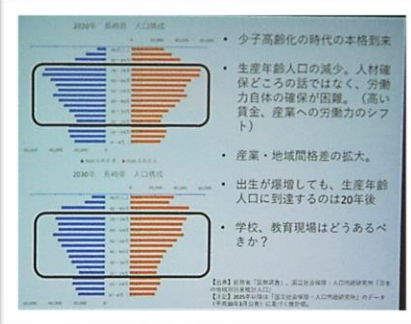


～HUBとなるための方策は?～

- ・働き方改革も一つの方策かもしれません。
- ・会員の人数。
- ・繋がり?
- ・組織に対して何ができるか、組織と組織をつなぐ役割みたいなものをすればいいのではないかなと思う。
- ・10年後の長崎の学校事務を見据え、まず、ベクトルを揃え、マネジメント(個人・組織)することだと思います。
自分的には、長崎の学校事務の未来を思い描き、おせっかいなマネジメント、リスクマネジメント(案)を適宜、提案し続ける、「変」なおじさん事務職員を目指します(^^)
- ・全ての事務職員が「ジブンゴト」として考えないと未来はない。
- ・会員を増やすこと。やはり数は力だと思います。



ホワイトボードで頑張る前田会長



パネリストのお三方

【セミナーの感想】

- ・これからの学校事務について考えるいい機会になりました。ありがとうございました。
- ・自分の職務について客観視する良い機会になりました。
- ・葛西先生の話でいうと、事務職員はもっと学校経営に参画しなければ・・・とかいう「唯一解」を求めていくのではなく、経験年数や学校規模、管理職の考え方等で状況が違う中、子どもたちの学びのために何が出来るかという「最適解」を求めていくことが、これから大事なかもとも感じました。
- ・お疲れ様でした。とても勉強になる研修でした。第23回目の研修会とのことでしたが、具体的に今までどのような研修・研究を行い、どのような取組が実現したのでしょうか? 長事研に入るメリットが他県の取組が分かる以外今ひとつ見えない、どのような活動をしているのか、どれくらいの頻度でどのくらいの質の活動なのか、などなど具体的に見えてこないため入会するか迷っています。
- ・自分で限界を作ってしまうと反省しました。
- ・事務職員のベクトルを合わせるの難しいと日頃から感じているところです。

今後の長事研活動についてのアンケートについてご協力よろしくお願いいたします。

●全事研大会 佐賀大会について

令和8年度に予定されている佐賀大会にて、お隣の県として長崎支部は分科会を担当することについて、どう思われますか?

<https://forms.gle/Rj2Smjz2b5rkPI1a6>



●長事研の今後の会員拡大について

会員拡大についての案があれば、どんな些細なことでもいいのでお知らせください。

<https://forms.gle/5XmkfMAo8tQvxfc17>

